

## 留学に関する Q&A 難波 莉子

### Q1 自己紹介、留学時期、留学先、勉強内容

難波莉子 2019年8月～2020年6月 台中科技大学 語学・経済

### Q2 履修科目、科目数

翻訳・通訳・国際経済研究・中国語初級中級など 20科目

### Q3 留学の志望動機

高校の時から中華圏への文化、語学、人間性に興味があり、県立大学で交換留学の機会があったので応募した

### Q4 留学を準備し始めた時期

私が留学に行ったのは二年次の後期からだったので準備は一年生の1, 2月から始めた

### Q5 留学準備で大切なこと/県大内で準備すべきこと

ビザの取得/特になし

### Q6 留学費用はいくらかかったか。出発までの準備費用と留学中の費用

一か月の生活費・食費・交際費すべて含めては日本円でだいたい3万円。ビザ取得に1万円。飛行機代は往復五万五千円（新型コロナウイルスのため帰りは割高）

### Q7 準備する上で障害だったこと、どうやって乗り越えたか

特になし

### Q8 留学が始まってから大変だったこと

全く中国語が話せないまま行っただけで勉強が大変だった。授業にも必死でついていき、友達とのおしゃべりも神経を尖らせていないと聞き取れないことがあるので日々疲れていた。しかし、部屋に帰っても聞こえるのは中国語。かなりストレスを感じたこともあったがそんな状況だからこそ無理にでも学ぶ環境ができた。ホームシックになる間もなく勉強した。おかげで後半は不自由なく聞き取れ、話すことができた。自分の成長を肌で感じられたし、周りからも褒められることが多く、とてもうれしかった。努力は報われるものだと感じた。

### Q9 日本の大学との違い、どんな刺激を受けたか

台湾人は授業中の発言が積極的で常に自分の意見を持って、先生と生徒で授業を作っていると感じた。ただ教室も狭く、日本のように大講義室でやる授業は少ない。私も発言したり、質問したりできるようになりいい刺激を受けた。

## Q10 交友関係はどうだったか

みんなあちこち連れて行ってってくれたり、ご飯にも連れて行ってってくれた。親友と呼べる人もできたし、私が帰国するとき多くの人が手紙をくれた。私は特に一対一での関係を大切にしていたのでそれが良かったのかなと思えた。もちろん合わない人もいたが友達は自分で選ぶものなので問題はない。

## Q11 もう一度留学をやり直せるならどのようにしたいか

最初からある程度基礎をつけてから行けばよかったなど。もちろんなにもわからなくても成長することはできたが、最初から喋れればもっと上のレベルに行けたと思う。留学中は常に全力で後悔しないように生活していたので思いこもすことは何もない。

## Q12 就職活動で留学経験をどう活かしたいか

もちろん台湾に就職したいと考える。日本と台湾を結ぶ仕事ができればいい。台湾で成長できた分、恩返しできればいい。